

栗の木寮たより 3月号



令和5年3月31日発行



3月3日 ひなまつり

3月に入って、少しずつ暖かい気候になってきましたね。晴れ間が続いたと思えば、雨が降ったり…。まだまだ不安定な天気ですが、春の訪れを感じます。3月に入ってすぐ、桃の節句がありますね。栗の木寮では、かわいらしいお菓子（あられやお饅頭）と甘酒が振舞われ、和やかなひとときが流れていました。





バザー頑張りました♪



3月5日 耳の日集会

耳の日集会（京都府峰山町）や手話まつり（京都嵐山）が開催され、栗の木寮の仲間も参加してきました。現地では、たからの里のパンや栗の木寮の仲間が作ったジャムや作品の販売、きょうされんの署名活動を行いました。仲間の頑張りのおかげで、たくさんの方にご購入いただき、署名のご協力もいただきました。この調子で、作品作りや日々の作業、署名活動も頑張っていきたいと思います。



3月19日 手話まつり





3月16日 ドックセラピー



一緒に散歩♪

今年初めて♪昨年の秋以来、久しぶりのドックセラピーです。
仲間も朝からソワソワ…♪ワンちゃんに会うのが待ちきれない
様子の仲間もいました。

今回はとても元気なワンちゃんがいたので、一緒に散歩をさせて
もらいました。『リードを持って、ワンちゃんと散歩をする』…おそらく初
めてという仲間も多かったのではないのでしょうか。最初はこわごわ不
安そうな仲間もいましたが、とてもお利口なワンちゃんたちばかりで、
仲間の歩く速度に合わせて、ゆっくりと散歩してくれました。なかなか
できない体験をして、ニコニコな表情の仲間たちでした♪



異動・退職職員のお知らせ



部長：村松 充



医務：木枝 めぐみ



支援員：和田 淳希



支援員：続木 八州代

部長である村松は、4月から同じ綾部市内にある聴言センターへ異動となります。時々、仲間の様子を見に来たり、必要な相談や支援を通して、引き続き仲間のサポートをさせていただきます。

そして医務の木枝、支援員の和田、続木の3名が退職することになりました。これまで、仲間の生活が充実したようになるように、体のケアや作業のサポート、生活支援に尽力させていただきました。

また、4月からは新しい部長や職員を迎え、新体制でスタートしていきます。ケース担当が変わる仲間もいますので、個別でお知らせ致します。

早いもので、2022年度も残りわずかとなりました。今年度もコロナウイルスの状況に制限の多い生活となりましたが、3月は久しぶりのバザー販売や外出など、仲間の生き生きとした姿を見て、私たちも嬉しくなりました。また、3月24日にはあゆみ会総会と改選を開催し、ここでも仲間が積極的に発言される様子を見て、4月からの栗の木寮も楽しみだなどワクワクしています。

職員の異動や退職など、寂しいお知らせもありますが、これからいろいろな形で繋がっていけると思っています。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。